



栄えある受章おめでとうございます

瑞宝双光章

総務省行政事務功労

大野 隆 さん(上新町)

昭和46年に旧行政管理庁中部管区行政監察局に入局。行政の実態を調査し適正化をはかる行政監察や、行政への要望を受けて制度や運営の改善に生かす行政相談に取り組みました。平成19年4月からは岐阜行政評価事務所長を務められ、「消えた年金」問題を受け発足した「年金記録確認岐阜地方第三者委員会」では事務室長を併任。

「家族や周囲の方のご協力により頂けたもので感謝しています。仕事を通じ、困っている人の助けになれたと思います。」



消防功労

佐野 宏志 さん(本町)

昭和47年に消防団に入団、約47年にわたり消防団活動に従事されました。また、平成9年4月からは団長として消防団を統括され、平成31年3月までの間、町の安全、安心なまちづくりに多大なる貢献をされました。その功績が讃えられ、平成10年には消防庁長官表彰、平成17年には藍綬褒章を、また、令和2年には町の名誉功労章を受章されています。

「消防関係者・地域の方々のお力添えのおかげであり、心から感謝しています。」



藍綬褒章

消防功績

矢野 隆一 さん(昭和町)

平成7年に消防団に入団され、消防団活動に従事されています。平成31年4月からは団長に就任され、災害現場での総指揮や、団員育成の指導者として、皆さんの生命と財産を守るためにご尽力されています。その功績が讃えられ、令和2年に消防庁長官表彰を受章されています。

「地域の方のご理解と、団員の皆さんの協力をいただいた結果であり感謝しています。今後も町民の安心と安全のために精進していきます。」



5月
3・4日

山王まつりの火を繋ぐ 神輿を特別に公開



例年5月に開催され、県重要無形民俗文化財に指定されている神戸山王まつりは、昨年に引き続き感染症対策のため中止となり、神事のみ関係者で執り行われました。

祭りの中心行事である渡御で親しまれる山王七社の七基の神輿は、5月3・4日の二日間に渡り各町内の7か所の神輿蔵で特別に公開されました。

本来であれば祭りの行事内でしか見ることのできない神輿を間近で目にする貴重な機会となり、地元の方を中心に見学者が訪れ、全ての神輿蔵を回り写真に収める方もいました。

5月
1~27日

郷土の歴史を楽しく学ぼう！「神戸かるた」展示

住民と町が協働してまちづくりを行う「神チャレンジプロジェクト」の「郷土愛を育む事業」の一環として、神戸町観光ボランティアガイドの会が作成した「神戸かるた」の展示が、5月1日~27日の間、町立図書館で行われました。

かるたは“あ”の「遊びながら郷土を探検神戸かるた!」から始まる全44種類で、大垣市の馬淵史帆さんが作成した温かみのある絵札と、町の歴史や文化を詳細に解説した読み札のセットになっています。

展示を目にした方は、「親しみのもてるイラストで楽しめた。詳しい解説で町のことを深く知ることができた」と話していました。



5月8日
~6月6日

バラを見ながら癒しのひとときを 薔薇cafeが開店



ばら公園いこいの広場では、5月中旬からバラの見頃を迎えました。町では5月8日~6月6日までを「ごうど春のローズウィーク」とし、公園内では期間限定店舗の薔薇cafeが営業しています。

感染症対策のため、今年はテーブルの数を減らし、容器は使い捨てのものを使用して営業。訪れた方は、公園内の思い思いの場所で、バラにちなんだドリンクやお菓子を楽しんでいました。

神戸町内の生産農家から直送されるバラ苗の販売も行われ、多様な種類が並んで店先を彩っていました。